

Musical Instrument Inquiry  
楽 器 探 訪——音の住処へ  
text by Kyoko Takeda  
vol.66

グランドピアノ  
[Grand Piano]



歌うように  
感情を音に乗せて

幅広いモデルをそろえるヤマハのグランドピアノに、フルコンサートグランドピアノ「CFX」を代表とするプレミアムピアノの技術、ノウハウを受け継いだ上位モデルが登場。より細かい音色変化をつけられる、高い表現力を備えている。

## Point 1 優れたハンマーと時間をかけた音づくり



ピッカーと呼ばれる器具の針をハンマーフェルトに刺し、ほぐしていく整音の工程。そのピアノの音色を決める重要な作業だ。

職人が手間ひまかけてつくるプレミアムピアノ「SXシリーズ」と同じ、弾力性に優れた羊毛フェルトのハンマーを採用。



コンサート用から家庭でのレッスン用まで、幅広いモデルを展開するヤマハのグランドピアノ。2021年2月10日、「C3X エスプレッシヴォ」がラインナップに加わった。なお“espressivo”とは“表情豊かに”を意味するイタリア語で、奏者のタッチに応じて音色、音量が微細に変化する表現力の高さを表している。

「C3X エスプレッシヴォ」の成り立ちは、多くの奏者、指導者に支持される「CXシリーズ」のモデル「C3X」に、職人がピアノ工房で時間をかけて作り込むプレミアムピアノ「SXシリーズ」の技術、ノウハウを落とし込んだもの。ただし、「C3X」がベースとなっているが、使われている素材や製法、音づくりにはプレミアムピアノ「SXシリーズ」の要素がふんだんに盛り込まれており、どのシリーズにも属さない独立したモデルとなっている。

「開発のきっかけとなったのは、『SXシリーズ』の上質な音色と響きを、家庭にも置きやすく人気のある『C3X』に応用することで、より多くの方に表情豊かな音色を楽しんでいただきたいという思いでした。

といっても、『SXシリーズ』の要素を『C3X』に乗せたという単純な話ではなく、一つの完成されたピアノにするために、ありとあらゆる箇所を『C3X エスプレッシヴォ』仕様に調整しています」というのは、開発を担

## Point 2 職人が手巻きする低音部の弦



機械巻きではなく、手巻きを採用。銅線を巻きながら行う微妙な調整はまさに職人技だ。

当した篠原大志さん。

「C3X エスプレッシヴォ」に取り入れられている技術、ノウハウには、主に三つのポイントがある。

厳選された素材を生かす  
こだわりの製法と職人技術

一つめは、弾力性に優れたハンマーを使用していること。微弱なピアノニッシモから力強いフォルテッシモまで、音色、音量をより細かく変化させるためには、弦を叩くハンマーの弾力性が欠かせないという。

「ハンマーそのものは『SXシリーズ』と同じですが、“整音”と呼ばれる音づくりのやり方が異なっています。というのも、『SXシリーズ』のハンマーフェルトはほぐれやすく、針を刺す場所や、刺す角度、深さなどによって音色が大きく変わるため、よ

多彩な音色を引き出す  
独自の製造技術

り繊細な作業が求められます。整音の担当者に『高音部にもう少しきらびやかな成分が欲しい』といったイメージを伝え、その場で調整してもらった音を聴き、議論を重ね、『C3X エスプレッシヴォ』の音色をつくり上げていきました」（篠原さん）

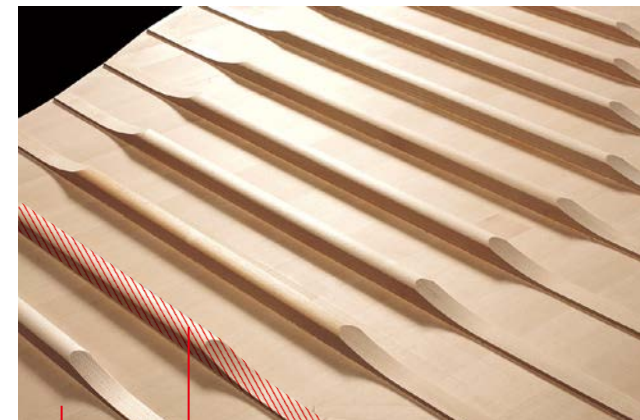
二つめは、低音域の弦において、職人が手で巻いた巻線を採用していること。手巻きの巻線は主にプレミアムピアノで採用されており、その作成作業には時間と手間がかかる。

「芯であるピアノ線に銅線を巻きつけていくのですが、職人の手で行うことで、力加減を微妙に調節しなが

ら巻きつけることができます。その結果、弦がより振動しやすくなり、明確な音程感や、低音域らしい音の重厚感を得ることができます。もちろん、誰にでもできる作業ではありません」（篠原さん）

三つめは、一流のピアニストがステージで弾く、フルコンサートグランドピアノ「CFX」と同じ響板・響棒の設計を採用していること。木材に余計なストレスを与えない製法にすることで、響板全体が振動しやすくなり、華やかな倍音を含む豊かな響きや、繊細なピアノニッシモもクリアに響く、音の立ち上がりのよさを実現している。

## Point 3 効率的に振動する響板と支柱



響板

響棒

音色を左右する響板は、実は湾曲している。響板に貼り付ける響棒をあらかじめ湾曲させて削り出し、響板に接着させることで、木材へのストレスが最小限に。隅のほうまで振動しやすい響板になる。

薄い木材を貼り合わせて厚みを作る曲線支柱。この上に響板が接着されるため、この造りが音の鳴りに大きく影響する。

